

関西サイエンス・フォーラム

設立趣意書

1. 我が国の科学技術の重要課題

(1) 科学技術の振興

戦後、我が国は主として欧米先進諸国が先鞭をつけた科学技術をもとに技術開発を進展させてきました。そして柔軟な社会システムと自由な創意によって強力な経済力に開花させ、人類の歴史の中でも希有な経済発展を実現してきました。

しかし、我が国は目覚ましい経済発展の陰で「基礎研究ただのり」との国際的な批判をあびております。科学技術の発展には基礎研究が不可欠であり、国をあげての注力が必要であります。我が国の現状では、欧米諸国と異なり、研究開発費の8割強を民間企業が負担するに至っており、基礎研究分野も民間企業に依存するところが大きいのであります。

本来基礎研究分野は、大学や国・公立研究機関が担うべきであります。現在これらは研究環境の劣悪化、研究者の不足、若い世代の理系離れなどが進み、子そのまま放置すれば、我が国の科学技術は取り返しのつかない衰退をみることになりましょう。

これら大学、国・公立研究機関の環境条件を早急に改善することが焦眉の急であり、この実現こそが民間企業の研究開発力と相まって我が国の科学技術の振興を一段と加速することが可能になりましょう。

このように21世紀へ向けて科学技術の体制を、官と民間の役割分担を含めて改革し、我が国の持てる資源を有効に活用できるような人材・財政面での振興が必要であります。

今や我が国の科学技術の成果を、人類共通の知的ストックとして次代の経済発展の礎とするとの認識を改めて強く自覚することが肝要であります。

その意味で我が国の科学技術の目指すべき方向を、長期的で大局的な立場に立って明らかにする必要があります。

(2) 科学技術の国際貢献

また、我が国が「基礎研究ただのり」との国際的な批判を受けないように、科学技術の面で世界の中でどのように貢献していくかが、重要な課題となっています。

すなわち、国際貢献という観点から我が国の科学技術のあり方を考えていくことが必要であります。具体的には、環境問題、エネルギー問題、食料問題など人類共通で、地球規模の問題に、我が国は科学技術を通じて重要な役割を果たすことを求められています。

また、途上国に対しては人材育成の面で貢献を果たすとともに、科学技術の成果を特に基礎研究分野の面で広く世界に提供するなど、世界に開かれた科学技術の体制を作りあげていくことが重要な課題ともなっています。

(3) 東京一極集中の是正

我が国は驚異的な経済発展を遂げた半面、さまざまな歪み現象を抱えることとなっています。その顕著な例が人口、資源、情報の東京一極集中という偏在経済発展の現状です。これは東京圏のみならず日本のあらゆる地方にさまざまな問題と矛盾を生じさせて、日本の活力を減殺させ、さらなる発展と豊かな生活を阻害する力となっています。

この現象は科学技術の政策決定をはじめ、立案から実施までのあらゆるフェイズで生じています。もはや東京圏への集積のメリットが相殺される段階にきているといえます。具体的にいえば研究施設、研究者、財源、情報が東京圏に過度に集中した結果、重複投資やさまざまな形の制約や規制が生じています。このような環境の中では、本来科学技術に必要とされる自由で多様な発想と旺盛な知的探求心の可能性が失われているのではないのでしょうか。

その意味でも、早急に地方分散の受け皿を強化していく形で、日本全体の科学技術を振興していく必要があります。

2. 関西サイエンス・フォーラムの創設の意義

以上、3つの重要課題に対して、日本が誇る叡知と科学技術に関する情熱をあわせもつ世界有数の有識者を中心に我が国の科学技術が目指すべき短期的、中長期的な方向を、調査研究し、かつ提言していく組織を発足させたいと思います。すなわち、ここに提案します「関西サイエンス・フォーラム（仮称）」は、関西の学界、経済界、官界における科学系・技術系、人文系の幅広い分野の有識者が自由な討議を通じて、我が国の科学技術のありうべき姿を探求し提言していく組織です。

この構想は、1989年3月（社）関西経済同友会科学技術委員会がまとめた「科学技術に関する提言」を土台として、関西の有識者の方々の意見を集約して、趣意書として取りまとめたものです。また1991年2月の第29回関西財界セミナーにおきましては、出席した幅広い関西財界メンバーの強い支持を得まして、その創設が合意されました。

3. 関西を地域としてのセンター・オブ・エクセレンスに

そして、関西サイエンス・フォーラムは、関西の科学技術の振興を図ります。

関西の地は過去千数百年にわたり流入してきた多種多様な文化が融合した極めて質の高い文化的な土壌とノーベル賞受賞者をはじめとする高い研究ポテンシャルを有しています。

そして現在、関西文化学術研究都市構想や西播磨の大型放射光施設など、大型プロジェクトを核として科学技術情報の一大発信基地となるようような努力を積み重ねています。

現在、科学技術の分野では新しいパラダイムを切り開くセンター・オブ・エクセレンスの存在が重視されています。すなわち当該研究分野で、世界的にその機能・成果が高く評価され、各国の優秀な頭脳が自然に集うような創造的、先端的な成果を生み出す中核的研究所が集積することによって、人類の知的資産を生み出すものと期待されています。

関西サイエンス・フォーラムは、現在の関西での取り組みをさらに発展させ、関西地域を我が国全体の科学技術のありうべき体制の中で、大きな役割を担う重要な地域、すなわち「地域としてのセンター・オブ・エクセレンス」とすることを目指したいと考えます。

そのために、本フォーラムは関西全体の科学技術の振興を目的に、調査研究と提言を併せておこないます。また、関西における広域的・横断的な情報交換、交流活動を通じて、人材育成をはじめ関西全体の科学技術に関するゆるやかな合意の形成にむけた活動を推進します。

関係各位におかれましては、以上の趣旨をご賢察いただき、ご賛同賜りますようお願い申し上げます。

以 上